



No. **33**  
2016.3

豊田森林組合

# ウツディとよた Woody Toyota Communication 通信

## 木材センターが

## 生まれ変わります。



▽副知事を表敬訪問

▽テストコース

委託業務について

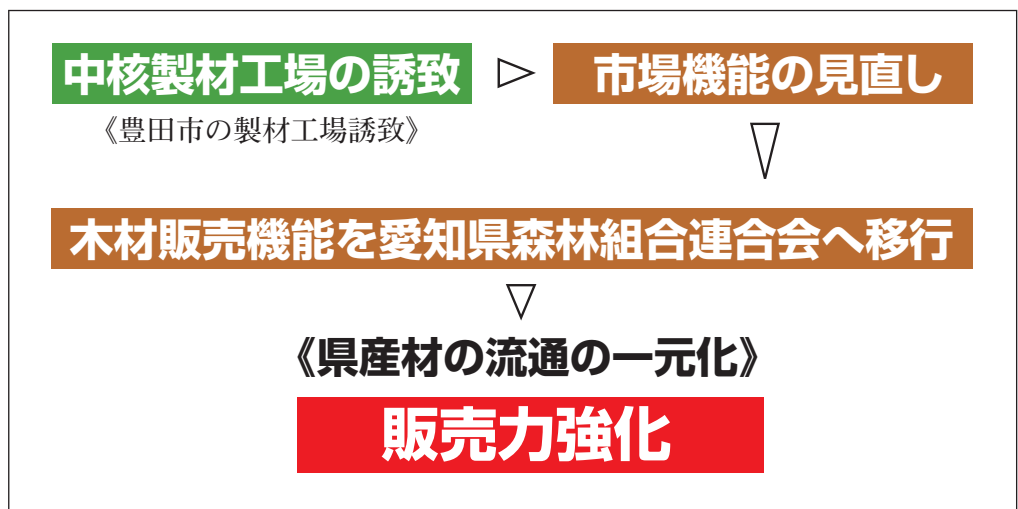
▽西垣林業(株)へ視察研修



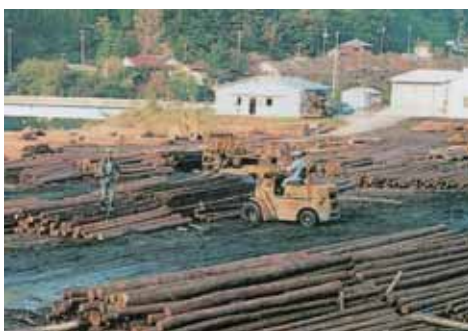
# 平成28年4月から 木材センターが 生まれ変わります

昭和34年に県森連足助木材共販所として産声を上げて、平成13年には足助町森林組合足助木材共販所となり、平成17年には7森林組合の広域合併により豊田森林組合木材センターとなりました。地域材の木材市場として重要な役割を果たして参りましたが、昨今の木材流通形態の多様化及び豊田市により誘致される中核製材工場への木材安定供給に対応していくため、豊田地域の新たな木材流通拠点として平成28年4月より市場機能を見直すことといたしました。

新年度からは、販売機能を愛知県森林組合連合会へ移行し、入札方式から付け売り方式とし、県産材の流通一元化により販売力の強化を図ってまいりますので、木材生産事業にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



## ▶ 木材センター移り変わり

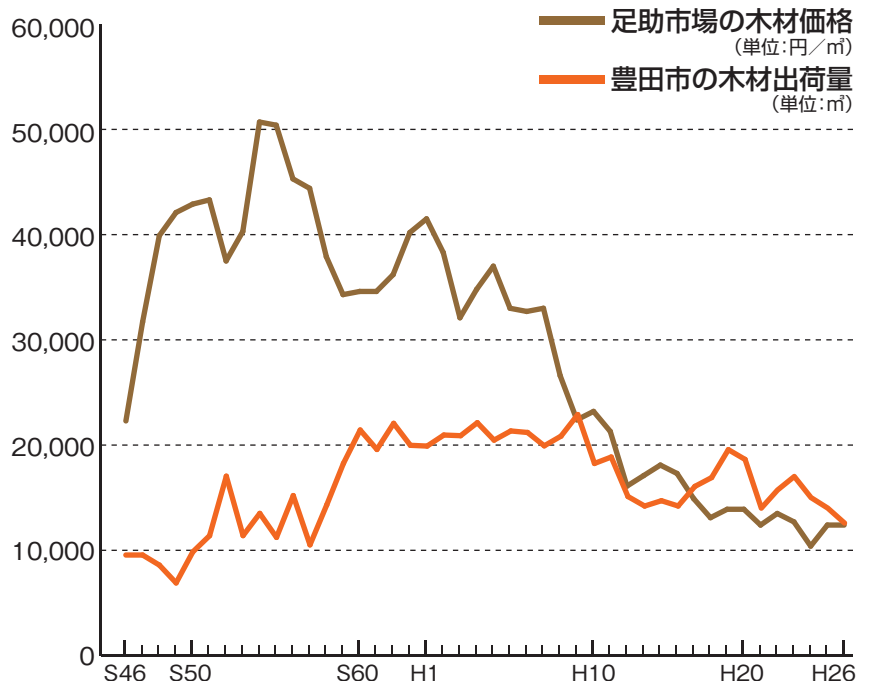


森林組合連合会足助共販所(昭和50年代)



豊田森林組合木材センター(現在)

○木材センター／価格、出荷量の推移





## 木材センターの今後について

### 新たな原木流通の拠点化に向けた

### 木材供給の仕組みについて

**Q** 豊田森林組合と県森連との基本合意の概要とは？

A. 平成27年12月25日に締結された、豊田地域の新たな原木流通拠点化に向けた基本合意では、組合は木材生産に特化し、販売は県森連に委ねることになります。平成30年度を目途に、原木流通機能を段階的に県森連に移行するというものです。

**Q** 県森連に販売を移行する理由は？

A. 豊田市が誘致する製材工場は、稼働初期に原木消費量を年間25,000m<sup>3</sup>、以後30,000～45,000m<sup>3</sup>としています。これだけの量の木材を当地域だけでは供給できないため、県森連に流通を一元化して県内の森林組合系統材全体の中で、県内の工場への供給を調整するためです。

**Q** 木材センターはどのようになるのか、又、木材の精算はどうなるのか？

A. 平成28年4月より、入札による市売りを廃止し、付け売り、特売で販売する方法に集約します。尚、精算は従来と同様に行います。

**Q** 手数料や仕分け料はどうなるのか？

A. 県森連の運営体制に合わせ、販売手数料は9%を8%に、仕分け料は900円/m<sup>3</sup>を800円/m<sup>3</sup>にそれぞれ引下げられます。

**Q** 木材センターでの価格はどのように決定するのか？

A. 県森連が相手先と協定を結び価格を決定します。尚、価格は定期的に見直していきます。

**Q** 木材はすべてに直送か？

A. 28、29年度は木材センターで仕分けをして、買い方や製材所へ販売します。30年度以降は、買い方や製材所との協定に基づき、現場で荒仕分けできた材は直送、又は木材センターで仕分けして納入します。

**Q** 木材センターで扱っている助燃材はどうなるのか？

A. 県森連に引き継ぐ予定ですが、当分の間は森林組合が取り扱っていきます。

**Q** 現在、組合と取引のある業者への対応はどうなるのか？

A. H28、29…そのまま県森連が引き継いで行きますが、直接の需要家である製材所と協定を結び納入することが主体となって行くと思われれます。

H30以降…豊田市が誘致する製材工場が主体となりますが、引き続き地域の製材所とも協定を結び、納入して行くことになります。

**Q** 役物などの優良材の取り扱いはどうするのか？

A. 役物を中心に扱っている製材所と価格協議の上、納入します。伐採を始めた段階からその材を必要とする製材所と品質、数量について協議し、適正な単価で販売します。

**Q** 組合員にとって豊田市が誘致する製材工場に直送するメリットは？

A. 生産現場から工場に直接納入することにより、市場で降ろして積み直すことに比べて運賃が1回分少なくすみ、その分、森林所有者への還元を増やすことができます。

**Q** これからの森づくりについて

A. 引き続き森づくり団地化により境界の確定を進め、効率的な施業を提案していきます。適正な施業を行って次の世代に引き継ぎ、先祖の労苦に応えましょう。

## 木材センター運営の県森連への移管について

平成27年12月25日(金)に県森連との基本合意書調印がなされて以来、数回の協議を重ね、新年度からの体制が固まってまいりましたので、ご報告致します。

木材は今までの入札方式から付け売りを主体として入荷した木材の全量を販売してまいります。現在のように月に2回の市日待つことなく、入荷後仕分けが済めば精算が可能となります。

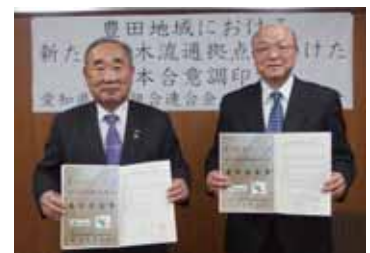
従来から取り扱ってききました助燃材も引き続き同様に扱います。

木材の受入れ積込等は現在と同様に当組合の職員が行いますので、宜しくお願いたします。又、電話番号等も変更ありませんので、ご質問等がございましたらお気軽にお問合せ下さい。

※付け売り…あらかじめ価格を協定した製材業者に必要だけ販売すること

※特売…価格協定を結んでいない径級の木材を製材業者等に注文により販売すること

※助燃材…未利用間伐材を市の清掃施設向けに長さ2mで末口8cm以上を1本単価で買い取ること





## 愛知県副知事を 表敬訪問いたしました。



森岡副知事

平成28年1月21日(木)に組合長、専務、常務の3名で森岡愛知県副知事を表敬訪問しました。副知事は民間の住宅会社出身で木材に対して深い見識があり、今回豊田市が誘致した製材工場の件や市内の森林整備の状況などを説明しました。副知事からも森林から受ける恩恵を十分に認識された上で、木材を有効活用できる「カスケード利用」が大切であることを力説され、組合へ向けて激励をいただきました。

## 企業庁開発委託業務について(トヨタテストコース)

下山地区で県企業庁豊田工事事務所が進めております豊田岡崎地区研究開発施設用地造成事業(トヨタテストコース)について紹介します。当組合は非変更区域の事業地管理業務の委託を受けています。これは環境を配慮した山林の手入れ・緑地の管理等地元の方の協力を得て行っています。造成工事では東工区その1、その2、その3の伐採工事を請け負っています。その1についてはほぼ終了し、その2については現在伐採作業中であり、その3については今年の2月より取りかかりました。現場自体は自由に出入りできる場所ではないので分かりにくいですが、かなりの伐採量(伐採面積は約120ha)です。

また、「しもやま里山協議会」を設立し事務局として協力させて頂いております。

なかなか組合員の皆さまの目に付くところでは作業をしていませんが、地域発展のために協力させて頂いております。

## 西垣林業(株)へ 視察にいきました。

平成27年12月17日(木)に豊田市が誘致した西垣林業(株)桜井本社の製材工場に役職員6名で視察研修を行いました。昭和10年より稼働した工場は街中にありながら、騒音や粉塵等による苦情がないとの事で、工場内では従業員の生き生きと働く姿や整理整頓、清掃も行き届き好意の持てる工場でした。製材工程では木材の持っている特性まで考えた木取りをしており、端材も余すことなく利用していました。又、木質ボイラーによる製品乾燥は木皮と製品くずが有効活用されていました。

今回の研修で、組合員から出荷される木材が価値のある製品になり、少しでも多く還元できる見通しができました。





# 活動報告 ▶ 2015.12月~2016.2月

## 林業作業 見学ツアー一組

平成27年12月4日(金)に愛知県林業振興基金主催による林業作業見学ツアーがありました。林業に就業したい人を対象に午前は山仕事の内容や現役の「緑の雇用」研修生の話を聞いてもらい、午後から惣田町地内にて高性能林業機械が稼働している現場を見てもらいました。今回15名の参加者を得まして、ほぼ全員林業の現場に足を入れるのが初めてであり、この中から一人でも当組合への就職希望者がみえたらありがたいです。



## 市議会議員との 懇談会を開催

平成27年12月9日(水)に市議会議員(中山間地域選出)6名と当組合の役職員10名にて懇談会を行いました。この懇談会は毎年開催しており今回も議員の皆さんと役員、正副委員長とで組合の森づくりの状況やこれからの林業に対する施策について語り合いました。市議会議員の皆さんは当組合に対しての期待も大きく、今後の組合運営に気が引き締まる思いでした。



清水組合長      鈴木 章市議      林専務

## GIS(地理情報システム)の 導入にむけて

平成28年1月18日(月)、2月12日(金)の両日に、岐阜県郡上森林組合へGISの視察に行っていました。

「GIS」と聞いて聞きなれない方も見えるかと思いますが、森林の情報と地図を結付けて管理するシステムです。

郡上森林組合は、平成16年に7組合が合併した組合で、合併以前からGISを活用している組合で4種類のシステムを業務に応じて使い分けていました。

当組合も平成28年度の導入に向け現在検討中です。





## 米原市役所が 来組(視察研修)

平成28年1月22日(金)、米原市林務課/滋賀県職員/森林組合の方々9名が訪れ、当組合の“森づくり団地の取り組み”及び“コーディネーター(測量補助員)運用”について視察研修をされました。特にコーディネーター運用について強く興味を持って頂いたようで、活発に質問がありました。まだまだ他府県の事例に学ぶことが多いですが、時には視察対象になることもよい刺激になります。これからも連携を取り、情報交換を深めながら団地化を進めていきたいと思ひます。



## キノコ菌打ち体験

平成28年1月30日(土)に幸田町にある「憩いの農園」にて、豊田支所主管でキノコの菌打ち講習会を開催しました。

当日は飛入り参加や、話だけでも聞いて帰りたい!という方も多く、20名以上の方にご参加いただき、とても賑やかな講習会でした。

駒菌とオガ菌を2班に分かれて打ち込んでもらい、体験中も「駒菌とオガ菌は何が違うの?」「どうやったら沢山でるの?」など質問が止まらず、参加者の皆さんのきのこに対する熱い思いが伝わりました。その思いに応えるために、職員も今後の管理等について説明させていただきました。ご参加いただいた皆さんの元においしいきのこが出来ますように。



## 地域林業の活性化にむけた シンポジウムを開催

「循環型林業への転換にむけて」

平成28年2月26日(金)に豊田産業文化センターにて、県豊田加茂農林水産事務所主催の地域林業の活性化にむけたシンポジウム「循環型林業への転換にむけて」が開催され、200名を超える参加者がありました。

内容は、前半に県事務所の林業普及指導員による報告会、森林総研の鹿又秀聡氏による報告「森林資源の循環利用を担う森林・木材産業」、日本森林技術協会の中村松三氏による基調講演「循環型林業への転換にむけて-再造林の低コスト化-」が行われました。

後半には、鹿又氏をコーディネーターに、パネリストに



中村氏、川上代表として当組合の清水組合長、川中代表として西垣林業(株)、川下代表としてナイス(株)に豊田市、愛知県の担当を加えたメンバーによるパネルディスカッションが行われました。

今後の山林経営を考える中で、皆伐(主伐)も選択肢の一つとして捉え持続可能な資源としてそれぞれの立場での意見が聞かれ、今回のシンポジウムを機に主伐～再造林を進めるきっかけにさせていただきたいと思ひました。



# とよた 森林学校から

平成18年に開校したとよた森林学校は昨年度で10年を迎えました。年間14講座を開講しておりますが、豊田森林組合として最も期待をしているのが「セミプロ林業作業員養成講座」です。この講座は、林業への就業を希望している方に実際にチェーンソーを持って山に入ってもらい、伐倒、枝払い、造材、集材等の作業を体験してもらう講座です。

指導をするのは当組合の作業員さんです。重いチェーンソーを軽々と持ち上げ、急斜面を悠々と登っていく後ろ姿や、巨木に立ち向かいチェーンソーを巧みに扱いながら伐り倒していく様子を見ていると惚れ惚れしてしまいます。

近年林業への就職希望者が減少傾向です。少しでも林業という仕事について考えた事のある方は一度豊田森林組合へお越しください。

はじめの一歩を踏み出したい。そんな方のためにこの講座があります。

平成28年4月1日(金)から **Facebook** はじめます!  
皆さんからの「いいね!」を待っています☆



## 今回の イチ おし!

森林組合購買部から皆さんのお役に立てる「イチおし商品」を紹介します。

チップソー専用研磨機!!

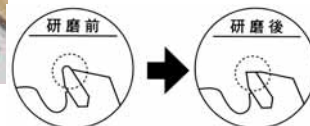
### らくらくケンマ「SK-1000」

¥16,500円(税別)

刈払機に取り付けたまま、チップソーを外す事無く簡単に研磨が行えて、電源が必要有りません!!

持ち運びも容易な為作業現場でこまめな研磨が可能です。

※おなか部分の研磨が必要な物は磨く事が出来ません。



### 激安!!「牛床皮手袋」

先着120双/¥150円(税別)

お値打ち商品です!!

縫製が荒い等、安いなりに訳がある!

その分お安くご提供!!

※本所のみ対応



## 組合員の 皆さまへ 「お願い」

土地所有者名義変更等、「変更届け」は90日以内に。

豊田森林組合の組合員の皆さんで、住所の変更や相続などで土地所有者名義等に変更があった場合には、変更届けを90日以内に提出して下さい。お願いします。

# 第11回 通常総代会 の日程を 平成28年6月26日(日)に 予定しております。

総代の皆様のご出席をお願いします。

総代会開催に伴い、各地区にて地区懇談会を開催しますのでそちらも関係各位のご出席をお願いします。

## 木材センターだより

**現状** 補助事業の締めは林産課と各支所の連携が取れて、出荷調整がなされたのでスムーズに材積確定ができました。今年度末で市売りが最後であります、買方の皆さまには今までのご愛顧に対し誌面ではありますが厚く御礼申し上げます。

**今後の動向** 樹種、寸目ごとに仕分けて入出荷しやすいように材をはい積みしていきます。今後、県森連と連携を図りながら業者と価格交渉し、組合員にとってより有利に販売して参りますので、宜しくをお願いします。

ヒノキ／3.0m、18cm柱材

14.5～16千円／m<sup>3</sup>

スギ／4.0m、24cm上中目

10～13.5千円／m<sup>3</sup>

## 組合ニュース **予告**

6月に開催予定!

### 林業機械即売会

今年の本所林業機械即売会は6月に予定しております。

※日にち等はまだ未定ですので、お問合せ下さい。



昨年の様子

4月23日(土)に開催!

### 旭支所の即売会

《9:00～16:00まで》

4月23日(土)に旭支所において林業機械の即売会を開催します。皆さまのご来場、お待ちしております。

お問い合わせ

豊田支所 TEL／0565-41-2010 FAX／0565-41-2130	下山支所 TEL／0565-90-2124 FAX／0565-90-2322
小原藤岡支所 TEL／0565-65-2003 FAX／0565-65-1727	旭支所 TEL／0565-68-2821 FAX／0565-68-2823
足助支所 TEL／0565-62-1818 FAX／0565-61-1617	稲武支所 TEL／0565-82-2032 FAX／0565-82-3020



【発行日】平成28年3月20日

【発行】豊田森林組合

〒444-2424 豊田市足助町横枕5番地

TEL 0565-61-1616 FAX 0565-61-1617

〈Eメール〉info@woodytoyota.net

〈ホームページ〉

<http://www.woodytoyota.net/>